

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

<b>研究領域名</b>	融合マテリアル：分子制御による材料創成と機能開拓
<b>領域代表者</b>	加藤 隆史（東京大学・大学院工学系研究科・教授）
<b>研究期間</b>	平成 22 年度～平成 26 年度
<b>科学研究費補助金審査部会における所見</b>	<p>本研究領域は、バイオミネラリゼーションのエッセンスを応用し、従来の有機材料と無機材料化学の分野の枠を超えた新材料創成を目指すものであり、その目標設定は明確である。特に、天然に倣いつつ従来型材料の性質を超える新材料創製に注力するという考え方は、自然調和型材料や、動的融合機能材料への展開を含めた今後の材料創製に大きな可能性を秘めており、新しい分野として期待できる。研究組織は関連分野における実力ある研究者で構成されており、若手研究者育成にも考慮したバランスのとれたものとなっているだけでなく、領域代表者のマネジメント能力も高く、発展が期待される。</p>